

5月定例記者会見の概要

1 日 時 令和8年5月11日（月）10時00分～11時00分

2 場 所 本庁舎2階 正庁

3 出席者 <報道機関>

- ① 河北新報社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ② 毎日新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ③ 朝日新聞社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ④ 読売新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ⑤ 福島民友新聞社 相双支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑥ 福島民報社 南相馬支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑦ NHK 南相馬報道室（南相馬記者クラブ会員）
- ⑧ 福島放送（南相馬記者クラブ会員）

計 8 社

< 市側 >

・市長・総務部長

(テレビ会議)

・副市長・小高区役所長・鹿島区役所長

・復興企画部長・市民生活部長・健康福祉部長

・こども未来部長・商工観光部長・商工観光部企業立地担当理事

・農林水産部長・建設部長・総合病院事務部長

・総合病院経営企画担当部長・教育委員会事務局長

計 16 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

【市政報告】

はじめに、県知事の本市訪問についてです。

4月21日、内堀知事に、南相馬市博物館を視察いただきました。本市の職員や発掘調査に関わる平宗男様の解説を聞きながら、市内で発掘された化石や恐竜の足跡などをご覧いただきました。

内堀知事からは『野馬追の里 南相馬』が『恐竜の化石の里 南相馬』に変化していく。そうしたプロセスに向けて頑張ってる姿に、とても感銘を受けました」とお話をいただきました。

次に、クーリングシェルターについて申し上げます。

環境省が4月22日から、熱中症特別警戒アラートと熱中症警戒アラートの運用を開始したことに合わせて、市では、生涯学習センターや博物館、図書館、民間施設などを合計22カ所に「クーリングシェルターみなみそうま」を開設いたしました。開設期間は10月21日までと考えております。

体が暑さに慣れていないこの時期は、特に熱中症への注意が必要です。体調に異変を感じたときは無理せず、クーリングシェルターみなみそうまをご利用ください。

次に、南相馬市協力防災士についてです。

市では、市民を対象に防災士養成講座を開催し、地域の自主的な防災活動や災害ボランティアセンターの活動などをサポートする人材を育成する「南相馬市協力防災士登録制度」を実施しています。

4月26日には、令和8年度の新たな協力防災士41人に登録書を交付し、本日時点で累計で168人の方に登録いただいている状況となっております。

協力防災士の皆様には、地域の防災講演会の講師や、市の防災訓練への協力また、災害時には、避難の呼びかけなどにご協力をいただいているところです。

次に、ゴールデンウィーク中のイベントについてです。

南相馬市サービスエリア利活用拠点施設「セデッテかしま」の11周年記念感謝祭が4月25・26の両日、開催されました。また、5月3日には、ひがし生涯学習センターで、陶芸体験などを通じて地域住民と子どもたちを結ぶ「こども交流事業」、隣接する道の駅南相馬では「こども祭り」が、ひがし地区まちづくり委員会と道の駅「南相馬」の合同で開催されました。

次に、クマの目撃情報について申し上げます。

5月5日に市内でクマが目撃され、6日以降にもクマのような動物の目撃情報がありました。これまで市内でクマの目撃情報はございませんでしたので、今回が初めての事例となります。

市では、市民の皆様の安全確保を最優先に考え、速やかに防災メールや市公式SNS等を通じて周知を行いました。その他、各行政区長や市内の保育園・幼稚園、小中学校等への情報共有を行うとともに、広報車による巡回なども実施し注意喚起したところです。

また、この対応の一環として、当該北泉エリアに隣接する北泉海浜総合公園内のキャンプ場と、公園南側エリアのわんぱく広場を一時的に閉鎖しております。これらのキャンプ場は、4月22日から予約の受け付けを開始しており、一般80区画、ペット可の区画が2区画、計82画あり、10月31日までの営業を予定しているところです。ご利用を予定していた皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、皆様の安全を最優先に判断させていただきましたので、何卒ご理解をお願いいたします。なお、再開の時期が決まりましたら改めてお知らせいたします。

市民の皆様申し上げます。これまでと同様の感覚で生活するのではなく、今後はこの地域にもクマの可能性が大いにあるというような意識を持って、十分にご注意いただきたいと思います。万が一クマに遭遇してしまった場合は、クマから目を離さず、ゆっくりと後退しながら、落ち着いて距離を取るなどしてください。決して背中を見せて走って逃げるようなことはしないでください。市としても、関係機関と連携しながら引き続き警戒を強めてまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、植樹祭についてです。

6月7日に「第14回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」を鹿島区烏崎地内の海岸防災林で開催いたします。過去13回までで約2万1,000人の方に植樹のご協力をいただき、合計で21万4,000本植栽いたしました。昨年は1,200人の方に参加いただきましたが今年も1,000人の参加者を募集し、1万2,000本の苗木を植栽する予定となっております。

会場内には、家族で楽しめる出店やキッチンカー、あるいは高校生による物品販売なども設けます。参加の申し込みは3月から開始しており、6月3日まで、市のホームページなどで受け付けておりますので、ぜひご参加ください。

次に、市内の水供給について申し上げます。

現在、市内の水供給は安定はしておりますが、これから田植えの繁忙期を迎えます。農業用水・工業用水用の横川ダムは総貯水率で46.94%で、平年と比べると21.5%少ない状態です。同じく農業用水の高倉ダムは、総貯水率は49.3%で平年と比べて12.66%少ない状況となっております。

現場と連携し、従来通りの水量を確保できるよう努めておりますが、気温上昇などによる需要増を踏まえ、万全を期す必要があります。

工業用水の節水要請に加えて、農家の皆様をはじめとする市民の皆様には、効率的な水管理への更なる協力をお願い申し上げる次第です。市としても、現場の状況を注視してまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、相馬野馬追執行委員長として申し上げます。

4月26日に相馬野馬追振興春季競馬大会、そして、5月2日の軍者会で肩章交付を終え、いよいよ相馬野馬追が近づいてまいりました。

本年は、相馬家第33代当主・相馬和胤公の次男・相馬陽胤公の御嫡息・相馬賀胤公が総大将として出陣します。総大将としては、初の出場となります。

本年の出場申込騎馬数は386騎となっております。女性騎馬については、昨年からの出場条件が緩和されており、本年は昨年より8騎多い48騎の申し込みとなっております。

開催日まで残り2週間を切りました。今年はふくしまデスティネーションキャンペーンの特別企画として甲冑競馬や神旗争奪戦を観覧しやすい場所に特別観覧席を設けております。

また、今回は通常設置している仮設トイレに加え、市で災害用に購入した仮設トイレ計12基設置いたします。内訳は、通常の仮設トイレ8基と、バリアフリー対応のものが4基です。これは混雑緩和という役割だけではございません。災害時用に導入した備蓄品を日常的に活用することで、常に清潔で万全な維持管理体制を確保するという狙いもございます。

市内外から足を運ばれる多くの方々に、戦国絵巻さながらの勇壮な騎馬武者の姿を快適にご覧いただけるよう、着実に準備を進め、地域の繁栄と安寧を願う相馬野馬追を盛大かつ安全に開催したいと考えています。

【質疑応答】

質問 1 :

相馬野馬追の最年少出場者と最高齢出場者を教えてください。また、女性の出場要件が昨年緩和され、今年は20歳以上で8騎増えていること、併せて全体の出場者が減少したことについて所見をお伺いします。

回答 1 : 市長

女性の出場者は、昨年の40人から48人に増加しました。昨年は発表から準備期間まで短かったのですが、今年は準備を整えて参加される方が増えたと理解しております。全体的な出場数は申し込み時点で昨年より少ない状況です。騎馬数を増やすことも必要ですが、甲冑競馬や神旗争奪戦に参加する、技術を持った武士（もののふ）を確保することも大切です。引き続き全体としてどのように確保していくか検討してまいります。

回答 1 : 商工観光部長

最高齢は標葉郷の本林耕作さん（91歳）です。最年少は北郷の深谷采未さん（2歳）です。

質問 2 :

昨年は馬が亡くなる事故がありましたが、注意喚起などはどのようにされる予定でしょうか。

回答 2 : 市長

昨年、北郷の供奉証交付式があり、協議があったところです。事故のあった踏切の道路に県の方で安全柵を設けていただきました。加えて、改めて鉄道の通過時刻表を出場騎馬の皆様に配布しています。

その上で、警察署や市の職員などが規制を行い、通過時間の余裕を持って止める、踏切と国道6号線の間に入らないように交通整理員を置くなどの対応を行います。

質問 3 :

相馬野馬追の特別観覧席について、何席用意され、どのような席になるのか教えてください。また、ふくしまデスティネーションキャンペーン（DC）に伴う期待感などがあればお伺いします。

回答 3 : 市長

指定席は合計で2,638枚、5,934人分を発売し完売しています。前売り券は現在5,000枚販売しており、3,655枚が販売済みです。

期待としては、騎馬武者も準備万端で訓練に励んでおり、より安全第一で皆様に快適にご覧いただける環境づくりに努めています。開催時期が変わったことによる仮設トイレの増設準備や安全対策に力を入れており、DC用の席も設け、より迫力のある観客席を心がけています。

回答 3 : 商工観光部長

特別観覧席は全部で1,004席確保しており、完売しています。北側に約200席、南側に約800席あり、パイプ椅子を配置します。南側800席のうち520席がDCの特別席となります。520席には特別なノベルティが付きます。

質問 4 :

クマの目撃情報について、クマと断定した根拠を教えてください。

回答 4 : 農林水産部長

5月5日の11時30分頃、原町区北泉で道路を横切るクマを目撃した方がドライブレコーダーで録画しており、それを県の鳥獣対策支援員と確認し、クマであると断定しました。本市で初めてのクマの目撃確認となります。

質問 4 :

ダムの水が少ない理由についての分析はしていますか。また、節水要請は今年に限った話ではないのでしょうか。

回答 4 : 市長

昨年の秋からの降雨量の少なさが理由です。まとまった雨がなく、通常秋頃に台風などで回復する水位が極めて少なかったため、満杯にならないまま春を迎えてしまった状況です。

工業用水の横川ダムについては節水要請をしており、通年で節水協力をいただいています。農業用水の高倉ダムについても春先から協力をいただいております。状況によってはさらに強い要請になる可能性があります。飲料水については別の水源ですので、現時点では通常通りです。

回答 4 : 農林水産部長

正確なデータは持ち合わせておりませんが、ダムの水位は令和6年度に迫る状況になっています。

質問 5 :

市教育委員会の国際バカロレア導入指針の最終版について、市長としての期待をお聞かせください。

回答 5 : 市長

子供たちの学力向上や考える力を身につけることが重要であり、英語教育にも力を入れています。その一つの手法として国際バカロレア教育が有効ではないかと考えています。小学校で着手し、中学校でも順次進めていく段階で、子供たちにより効果的な教育環境を提供するための有効な方法と期待しています。

回答 5 : 教育長

国内における探究学習を進める方向性に国際バカロレアの教育理念が合致していると考えています。子供たちが自ら課題を持ち、試行錯誤しながら解決に向けて進めていく学習方法や、様々な視点を示す指導方法は素晴らしいです。原町三小で先行して始まり、原町一中でも研究が始まっており、大いに期待しています。

質問 6 :

5月5日以降のクマの目撃情報について、同一個体か複数か、市の見解はありますか。

回答 6 : 市長

最初の北泉の事例はクマと断定しましたが、その後の情報については足跡なども確認できておらず、「クマらしき」としています。同一個体かどうかは専門家も含

めて何とも言えない状況です。そのため、情報が出るたびに注意喚起を行っています。

質問 7 :

クマの被害防止に向けた新たな体制や、緊急銃猟に向けた猟友会との話し合いなど、具体的な対応はありますか。また、全国的に猟友会員が不足している状況のようですが、人数は足りているのでしょうか。

回答 7 : 市長

令和 7 年 10 月に作成したマニュアルに従って対応しています。人身被害の恐れがある警戒レベルに達した場合の手順などが定められており、それに沿って広報などを行っています。

猟友会員は各区 15 人、計 45 人で定数として確保できています。

回答 7 : 農林水産部長

緊急銃猟については、先週猟友会と会議を持ち、素早い対応のための事前依頼や支援の依頼を行いました。

質問 8 :

本日浪江町で開催される原子力災害被災地の森林・林業再生に向けた意見交換会について、国や関係機関への申し入れや市の対応について教えてください。

回答 8 : 市長

林業の復興がかなり遅れており、特に帰還困難区域の山側の作業が進んでいません。作業の安全確保のための基準や手順を国に示してほしいとお願いしており、徐々に動き出しています。国有林での作業の見通しや方策についても早く作成してほしいと要望します。また、やみくもに枯葉や土を除去するのではなく、場所に応じた適切な対応が必要であると認識しています。

以上